

「第4次子どもの読書活動推進計画」策定に伴うアンケート関連項目一覧

1 基本方針	2 視点	3 凡例	④事業・施策	5 方法	6 アンケート対象	7 項目	8 設問の主旨	9 設問を設けた理由	10 設問項目
3図書館、家庭、地域、学校等における子供への読書に親しむ機会と環境の整備・充実	③デジタル社会に対応した読書環境の整備	×	子供の発達段階に応じ、ICT環境の整備	3000人無作為抽出		①	保護者の電子書籍に関する意識	電子書籍の選書の充実 利用を増やす	(1)子供に電子書籍を与えたいか (2)与えたいジャンルは何か
	4子供の読書活動に関する啓発と情報提供の充実	◎	「りんごの棚」関連事業				②	りんごの棚の周知度と利用度	りんごの棚の内容の充実 りんごの棚の活性化をはかる手立ての検証
1子供が読書に親しむための推進体制の整備・充実	①不読率の低減	○	集会行事(クリスマス会)	イベント参加者 参加者共通質問	イベント参加者	③	読書イベントのさらなる活性化 読書イベント内容の充実 読書推進への効果 ※読書イベントアンケート項目を共通にする	読書イベントの内容を充実させる 読書イベントと将来にわたる読書習慣との関連性の検証	(1)このイベントで楽しかったことは何か。 (2)このイベントでやってみたいプログラムはあるか。 (3)他にやってほしいイベントはあるか。 (4)読書パスポートは使っているか(どこを?) (5)本を読むのは好きか。 (6)図書館をよく利用するか(どこを?) (7)図書館を楽しくするにはどうしたらいいと思うか
3図書館、家庭、地域、学校等における子供への読書に親しむ機会と環境の整備・充実	④子どもの視点に立った読書活動の推進	◎	一日体験図書館員 高校生のおはなし会						①不読率の低減
	1子供が読書に親しむための推進体制の整備・充実	①不読率の低減	○	ブックスタート事業	ボランティア	保護者	⑤	赤ちゃんに本を読んでいると答えている保護者の比率、及び読み聞かせを行っている人の把握	
○			おやこでえほんサロン	⑥			乳幼児の読書環境の把握	乳幼児の保護者の読み聞かせや電子書籍への意識の把握 今後の読書推進方法の検証	(1)読む本をどうやって手に入れるのか (2)ほかのイベントに参加したことはあるか (3)平日と土日どちらが参加しやすいか (4)電子書籍を利用しているか (5)電子書籍を子供に与えているか (6)電子書籍を子供に与えたいか
②多様な子供たちの読書機会の確保		○	司書教諭・学校図書館支援員 研修会への講師の派遣や助言	学校 関連調査	指導課・学校	⑦	学校が学校図書館支援員に期待する業務	今後の「学校図書館支援員研修」の内容の充実	学校図書館支援員に期待する業務は何か。
						⑧	図書館と学校図書館の連携	図書館と学校図書館の連携の充実	学校図書館と市立図書館が連携をとるためには何が必要と思われるか。
						⑨	調べものの本の団体貸出と学校図書資料費との相関関係	学校図書館が情報センターとして機能するために学校団体貸出は役立っているのかの検証	団体貸出を使っている学校は、図書購入予算をどんな資料に充てているのか
						⑩	調べものの本の団体貸出と学校図書資料費との相関関係	学校図書館の図書資料内容の充実	市立小・中学校の図書資料で不足していると思われる部分は何か
						⑪	司書教諭との連携手段	司書教諭との連携を実現 さらなる読書環境推進を	(1)年間1回程度、司書教諭と連携する機会を設ける意向があるか (3)次計画にもあり、実現できずにいる項目 (2)ほかに司書教諭と連携する方法はあるか
③デジタル社会に対応した読書環境の整備		★	学校と図書館の図書館システムの統一 集団向け電子書籍の提供	学校 一斉調査	指導課・学校	⑬		図書館資料のより効率的な利用方法の考察	「あっぴいぶっくる本」「学校の授業をきっかけに読書が広がる本のセット」を子供たちに貸出しているか
						⑭	学校の意向(アンケート以外の方法でも)		図書館と学校図書館システムの統一により、図書館資料を学校で効率的に使うことの意向はどうか
						⑮		学校として、児童生徒に電子書籍を推奨するかどうかの検証	今後、図書館電子書籍を利用したい意向があるか (※電子書籍への考えやタブレットの利用方法については学校に委ねられているため、学校の意向を聞く)
3図書館、家庭、地域、学校等における子供への読書に親しむ機会と環境の整備・充実		①不読率の低減	○	「あっぴいぶっくる本のセット」事業	指導課・学校	⑯	「あっぴいぶっくる本」と学校図書資料費との相関関係	あっぴいぶっくる本の効果の検証	「あっぴいぶっくる本」があることで、図書購入予算を調べものの本の購入に充てられたと思うか
	○		「えほんあっぴいぶっくる本のセット」事業	保育所		⑰	「えほんあっぴいぶっくる」の利用方法	えほんあっぴいぶっくるの実態把握	(1)利用の仕方に不自由があるか (2)本の種類に満足しているか (3)「えほんあっぴいぶっくる」を保護者に周知しているか (4)保護者の利用方法
	◎	「学校の授業をきっかけに読書が広がる本のセット」事業	事業 ごとに個別調査	市内の高校生2年生	⑱	「学校の授業をきっかけに読書が広がる本のセット」の利用方法	「学校の授業をきっかけに読書が広がる本のセット」の効果の検証	(1)児童が読んでいたか、どのように展示しているか (2)リストにのっている資料は子供たちの興味の広がりに役立っているか (3)連想マップはわかりやすいか (4)利用の上で不便な点はないか	
	◎	多様な子供たちの読書に関する講座			特別支援学級	⑲	支援学級やに対する図書館の支援の方法	図書館側が提供できるサービスを支援学校・支援学級に提示	図書館に、どのような支援・講座・イベントなどを期待するか
◎	デジタル社会に対応した読書環境の整備	★	中高校生をターゲットとした電子資料の収集	⑳	yyコーナーの活性化＝読書推進に繋げる	上尾の中高校生の実態把握 yyコーナー(電子書籍を含む)の活性化	(1)図書館の開館時間が延びたら、図書館を利用するか (2)図書館にどのような空間があったら、利用したくなるか (3)普段どのようなメディア等を楽しんでいるか (4)普段どんな形態(文庫・単行本・電子など)の本を読んでいるか (5)普段どんな種類の本を読んでいるか		
4子供の読書活動に関する啓発と情報提供の充実	②多様な子供たちの読書機会の確保	◎	「りんごの棚」関連事業	りんごの棚利用者	㉑	りんごの棚の周知度と利用度	りんごの棚の活性化をはかる手立ての検証	(1)りんごの棚は利用しやすいか。 (2)りんごの棚に期待することはどんなことか	